

「個人不動産賃貸」

4 _ 仕訳モデルの登録と利用 説明書

平成29年12月

りゅう

目 次

§ 1 仕訳モデルの登録	1
（1）基本機能	2
1）「仕訳モデルに対するアクション」	3
2）仕訳モデル入力欄	3
ア）仕訳モデルの入力	3
イ）コメント行の入力	3
ウ）仕切り行の入力	4
3）「入力欄クリアー」ボタン	4
4）「科目ヘルプ」ボタン	4
5）「アクション」ボタン	4
6）「戻る」ボタン	4
（2）支援機能	5
1）「↓」ボタン	5
2）「↑」ボタン	5
3）「画面移動」ボタン	5
ア）「先頭」ボタン	5
イ）「末尾」ボタン	5
4）登録した仕訳モデル	5
ア）見出行の機能	6
「＊」	6
イ）モデル行の機能	6
「＊」	6
「連番～摘要」	6
（3）仕訳モデルの登録例	7
§ 2 仕訳モデルの表示と利用	9
（1）基本機能	10
1）「転送行」	11
2）「転送して戻る」ボタン	11
3）「転送せずに戻る」ボタン	11
4）「画面移動」ボタン	11
ア）「先頭」ボタン	11
イ）「末尾」ボタン	11
（2）利用の仕方	12

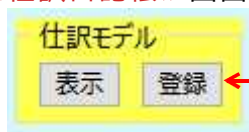
§ 1 仕訳モデルの登録

「仕訳日記帳」に記帳を続けていくと、同じような形の入力が繰り返されることが多くあります。このようなとき、モデルを作り、登録し、それを利用すれば手間が省けます。

登録するには《仕訳日記帳》画面で、「仕訳モデル」の「登録」ボタンをクリックして《仕訳モデルの登録》画面を呼び出します。

このとき、「仕訳日記帳」の入力欄の各項目の値が、仕訳モデルの入力欄に転送されます。利用できるなら利用してください。

《仕訳日記帳》画面



ここをクリックすると下の
《仕訳モデルの登録》の画
面が出る。

《仕訳モデルの登録》

[illegible]

(1) 基本機能

画面が細かいので左右を拡大した画面で説明します。

左側

仕訳モデルの登録：2017年(平成29年)

仕訳モデルに対するアクション
☐ 新規 ☐ 訂正 ☐ 削除 ☐ 前に挿入

仕訳モデル入力欄 科目ヘルプ

連番	コード*	借方科目	借方金額	コード*	貸方科目

登録した仕訳モデル

* 連番	コード*	借方科目	借方金額	コード*	貸方科目

右側

アクション 戻る

科目ヘルプ 入力欄クリア

コード*	貸方科目	貸方金額	摘要

↓ ↑

先頭 末尾

連番	コード*	貸方科目	貸方金額	摘要

「仕訳日記帳」での取引の入力の機能と同じようにしてあります。

1) 「仕訳モデルに対するアクション」

これから「仕訳モデル入力欄」に入力するモデルを「どうしたい」のかを最初に指定します。ここの指定により「アクション」ボタンの表示が変わります。以下の4つの指定があります。アクションは連番に対しておこなわれます。「仕訳日記帳」と同じです。

新規 ... 仕訳モデル一覧の末尾に登録します。
訂正 ... 指定の仕訳モデルを訂正します。
削除 ... 指定の仕訳モデルを削除します。
前に挿入 ... 指定の仕訳モデルの前に挿入します。

2) 仕訳モデル入力欄

ここに仕訳モデルを入力します。

ア) 仕訳モデルの入力

連番 4桁以内の数字で登録一覧の行番号になります。アクションが「新規」以外はこの連番の行がアクションの対象になります。
借方コード ... 3桁のコードを入力します。コードがわからないときは「科目ヘルプ」を呼び出して、その中から探します。入力しない場合は Enter を押します。
借方科目 借方コードが入力されると、10桁以内の漢字名が自動的に表示されます。入力はありません。
借方金額 10桁以内の数字です。3桁ごとにカンマを入れても入れなくてもかまいません。空白の場合は Enter を押します。
貸方コード ... 借方コードと同じように入力をします。
貸方科目 借方科目と同じで10桁以内の漢字名が自動的に表示されます。入力はありません。
貸方金額 10桁以内の数字です。3桁ごとにカンマを入れても入れなくてもかまいません。空白の場合は Enter を押します。
摘要 メモです。必須ではありません。全角で20桁以内です。

イ) コメント行の入力

仕訳モデルの入力で、摘要欄を全角で20桁を越えて入力したいときに、越えた分をつぎの行の摘要欄のみに続けることができます。

連番 ... 4桁以内の数字で登録一覧の行番号になります。アクションが「新規」以外はこの連番がアクションの対象になります。
借方コード ... 必ず空白にします(Enterを押す)。
貸方コード ... 必ず空白にします(Enterを押す)。
摘要 ... メモです。目的のコメントを入力します。全角で20桁以内です。

ウ) 仕切り行の入力

仕訳モデルをグループごとに仕切り、見やすくするために「仕切り行」を設けることができます。コメント行の一種です。

つぎのように入力します。

連番 ... 4桁以内の数字で登録一覧の行番号になります。アクションが「新規」以外はこの連番がアクションの対象になります。

借方コード ... --- を入力します。仕切り行にするかどうかの警告が出ますが、先に進めるとそれ以降の項目は「----」になります。

3) 「入力欄クリアー」ボタン

入力欄の値をクリアー(空白)します。入力したものが間違っているときとかです。

4) 「科目ヘルプ」ボタン

借方コード、貸方コードのコードがわからないときにこのボタンをクリックします。「仕訳日記帳」のヘルプと同じです。目当てのコードが見つかったらそのコードを右クリックします。入力欄にコードと科目名が転送されます。

《科目ヘルプ》画面の「転送先」は

なし ... クリックしても転送はできない

借方 ... 借方コードに転送する

貸方 ... 貸方コードに転送する

となっています。

5) 「アクション」ボタン

「入力欄のアクション」によって「新規」「訂正」「削除」「挿入」と表示文字が変わります。このボタンのクリックでそれぞれの機能が実行されます。

6) 「戻る」ボタン

《仕訳日記帳》画面に戻ります。

(2) 支援機能

1) 「↓」ボタン

「摘要」欄の文字列をすぐ下の枠にコピーします。つぎに「↓」ボタンが押されるまで変わりません。「摘要」には文字位置を示すスケールがありません。そのため、複数のコメント行を作ったときに、文字位置が不揃いになるのを防ぐためのものです。

たとえば、つぎのコメント行①②を入れたとき

管理費 60,000円 ← ①

消費税 4,800円 ← ②

①を入力したら「↓」で下にコピーしておき、②の入力を始めます。金額の4,800の位置がよくわかると思います。

摘 要	
諸費税	← ② タテ棒は 4 の入力位置を表しています
管理費 60,000円	← ① 摘要の保存場所

2) 「↑」ボタン

「↓」ボタンの反対の機能です。左に保存した摘要を上「摘要」に移します。

3) 「画面移動」ボタン

指定の表示が一画面に収まらないときに機能します。

ア) 「先頭」ボタン

クリックすると1番目のデータが画面の1行目に表示されます。

イ) 「末尾」ボタン

クリックすると最後のデータが画面の下の方に表示されます。

4) 登録した仕訳モデル

入力を楽しむために登録されている仕訳モデルの情報を利用することができます。「登録した仕訳モデル」の中で、登録したモデルの一部が利用できるのなら、それを入力欄で利用するため、つぎのような機能があります。

登録した仕訳モデル								
* 連番	コード	借方科目	借方金額	コード	貸方科目	貸方金額	摘	

見出行
モデル行

ア) 見出行の機能

「*」← 左か右クリック

マウスボタンの左か右でクリックすると、モデル行の* 欄に* が付いている行の画面を表示します。* がない場合は末尾の行のある画面を表示します。

イ) モデル行の機能

直接の入力はできませんが、マウスボタンのクリックによってつぎのような入力の支援ができます。

「*」← 左か右クリック

目的のモデルの* 欄をマウスで左か右クリックすると、入力欄への転送がおきます。

転送の内容は「仕訳モデルに対するアクション」の指定によります。

アクション	* マーク	入力欄への転送
新規	どこかに* があれば消す	しない
訂正	その行に* を付ける	連番～摘要の1行分
削除	その行に* を付ける	連番～摘要の1行分
前に挿入	その行に* を付ける	連番のみ

「連番～摘要」← 右クリック。左ボタンは無効

これらの各項目をマウスの右でクリックすると、下のような転送がおきます。左ボタンのクリックは何もしません。

アクション	入力欄への転送	
	連 番	借方コード～摘要
新規	何もしない	クリックした項目を転送
訂正	転送する	クリックした項目を転送
削除	転送する	何もしない
前に挿入	転送する	クリックした項目を転送

(3) 仕訳モデルの登録例

家賃収入や銀行への借金(建築費)返済の仕訳は、毎月定期的に発生します。これをモデル化しておけば《仕訳日記帳》での入力になります。

つぎの仕訳例をモデル化してみましょう。

	借 方	借方金額	貸 方	貸方金額	摘 要
①	110 普通預金	80,000	700 賃貸料	80,000	Aさん家賃1月分
②	110 普通預金	70,000	700 賃貸料	70,000	Bさん家賃1月分
③	400 借入金	100,000	110 普通預金	120,000	元金分
④	780 借入金利子	20,000			利息分

借入金関係の金額は概算でかまいません。元利均等返済だと毎月少しずつ変わるので、

《仕訳日記帳》で入力するときに「借入金返済表」で金額を確定します。

手順はつぎのとおりです。

	①の入力	②の入力	③の入力	④の入力
アクション	新規	そのまま	そのまま	そのまま
借方コード	110	110	400	780
借方金額	80000	70000	100000	20000
貸方コード	700	700	110	Enter
貸方金額	Enter	Enter	120000	
摘要	Aさん家賃1月分	Bさん家賃1月分	元金分	利息分

この結果、次のようになる筈です。

《今の手順で登録したもの》

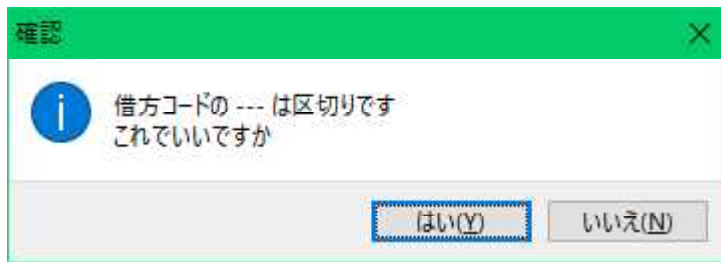
登録した仕訳モデル								
* 連番	コード	借方科目	借方金額	コード	貸方科目	貸方金額	摘	
1	110	普通預金	80,000	700	賃貸料	80,000	Aさん家賃1月分	
2	110	普通預金	70,000	700	賃貸料	70,000	Bさん家賃1月分	
3	400	借入金	100,000	110	普通預金	120,000	元金分	
4	780	借入金利子	20,000				利息分	

「賃貸料」と「借入金」とは性格が違うので、仕切り行を連番2と3の間に入れて見やすくします。そのためには

- (ア) 「仕訳モデルに対するアクション」を「前に挿入」
- (イ) 連番3の*欄をマウス左クリックし Enter
- (ウ) 入力欄の借方コードに「---」を入力
- (エ) 摘要までの各欄が自動で「----」になる
- (オ) 「挿入」ボタンをクリック

途中で次の警告のメッセージが出ます。

《警告のメッセージ》



「はい」を選択すると以下のようになります。

《見やすくしたもの》

登録した仕訳モデル								
*	連番	ｺｰﾄﾞ	借方科目	借方金額	ｺｰﾄﾞ	貸方科目	貸方金額	摘
	1	110	普通預金	80,000	700	賃貸料	80,000	Aさん家賃 1月分
	2	110	普通預金	70,000	700	賃貸料	70,000	Bさん家賃 1月分
	3	----	-----	-----	----	-----	-----	-----
*	4	400	借入金	100,000	110	普通預金	120,000	元金分
	5	780	借入金利息	20,000				利息分

§ 2 仕訳モデルの表示と利用

登録した「仕訳モデル」は《仕訳日記帳》画面で、日々の取引を入力するときに入力の
手助けとして利用します。家賃収入とかローンの返済といった取引は毎月繰り返します。
いちいち入力するより、似たモデルを利用して手直した方がずっと楽です。

利用するには《仕訳日記帳》画面で、「仕訳モデル」の「表示」ボタンをクリックして《仕訳モデルの表示》画面を呼び出します。

《仕訳日記帳》画面

ここをクリック

仕訳モデル

表示 登録

《仕訳モデルの表示》

[illegible]

(1) 基本機能

最初にボタンなどの機能を下の画面から説明しておきます。

左

仕訳モデルの表示：2017年(平成29年)

転送行
始め行： 終り行： 始め行、終り行は下のモデルの目的行の*欄をマウス左クリック

登録されている仕訳モデル

* 連番	コード*	借方科目	借方金額	コード*	貸

右

り行は下の
内行の*欄
リック

転送して戻る 転送せずに戻る

先頭 末尾

コード*	貸方科目	貸方金額	摘 要

1) 「転送行」

「登録されている仕訳モデル」の利用したいモデルの連番を直接入力します。連続した行は「始め行」～「終り行」に入力します。

直接の入力の代わりに、目的の仕訳モデルの* 欄をマウスの左ボタンでクリックしてもできます。最初のクリックは「始め行」、つぎのクリックが「終り行」になります。間違えたときは* をクリックすれば消えます。

登録されている仕訳モデル								
* 連番	コード	借方科目	借方金額	コード	貸方科目	貸方金額		
1	110	普通預金	80,000	700	賃貸料	80,000	Aさん家賃1)	
2	110	普通預金	70,000	700	賃貸料	70,000	Bさん家賃1)	
3	---	-----	-----	---	-----	-----	-----	
4	400	借入金	100,000	110	普通預金	120,000	元金分	
5	780	借入金利子	20,000				利息分	
6	---	-----	-----	---	-----	-----	-----	

始め行、終り行の指定は、目的のモデルのこの欄をマウス左ボタンでクリックします。これの方が簡単で早い。

2) 「転送して戻る」ボタン

「転送行」の「始め行」「終り行」にセットされたモデルを《仕訳日記帳》画面の「入力欄」に転送し、《仕訳日記帳》画面に戻ります。

3) 「転送せずに戻る」ボタン

「転送行」の「始め行」「終り行」に入力があっても転送はしないで、《仕訳日記帳》画面に戻ります。

4) 「画面移動」ボタン

「登録されている仕訳モデル」の表示が一画面に収まらないときに機能します。

ア) 「先頭」ボタン

クリックすると1番目のモデルが画面の1行目に表示されます。

イ) 「末尾」ボタン

クリックすると最後のモデルが画面の下の方に表示されます。

(2) 利用の仕方

《仕訳日記帳》画面で「仕訳モデル」を利用したいと思ったら「表示」ボタンをクリックし、《仕訳モデルの表示》画面を呼び出します。その中から目的のモデルを選択し、「転送して戻る」ボタンで《仕訳日記帳》画面に戻ります。あとは入力欄で細かい部分を直せばOKです。

「§1の(3) 仕訳モデルの登録例」(7ページ)のモデルを使って説明します。登録したモデルは以下のようになっています。

《登録したモデル》

登録されている仕訳モデル								
* 連番	コード	借方科目	借方金額	コード	貸方科目	貸方金額	摘	
1	110	普通預金	80,000	700	賃貸料	80,000	Aさん家賃1月分	
2	110	普通預金	70,000	700	賃貸料	70,000	Bさん家賃1月分	
3	----	-----	-----	----	-----	-----	-----	
4	400	借入金	100,000	110	普通預金	120,000	元金分	
5	780	借入金利息	20,000				利息分	

(例1) 2月分の家賃が2月10日に入ったので、仕訳日記帳には登録されている仕訳モデルを使って「新規」で仕訳をしたい。

(ア) アクションの種類を「新規」にします。モデルを転送してから指定すると入力欄がクリアされてしまう。

(イ) 《仕訳日記帳》画面から《仕訳モデルの表示》画面を呼び出します。

(ウ) 1月分の家賃のモデルがあるのでそれを利用するため

始め行 ... 連番1の行の*欄をマウス左ボタンでクリック

1がセットされます。

終り行 ... 連番2の行の*欄をマウス左ボタンでクリック

2がセットされます。

「転送して戻る」ボタンをクリック

(エ) 《仕訳日記帳》画面に戻ると、入力欄にはつぎのような連番1のモデルが入っています。

《連番1の仕訳モデルが入っている》

上段：借方 / 下段：貸方					転送残	入力欄クリア
伝票	月/日	コード	科目	金額	1	
		110	普通預金	80,000		摘
勘定外		700	賃貸料	80,000	Aさん家賃1月分	

入っているモデルを処理したくない(捨てる)ときは、「入力欄クリア」

をクリックします。入っているモデルはクリアーされ、つぎのモデルが入力欄に入ります。

また、転送残の枠に「1」とありますが、これは「転送すべきモデルがあと1個ある」ということを表しています。

転送残は

0 ... 入力欄にあるモデルが最後

数字 ... 転送すべきモデルの残り数(未転送の数)

空白 ... 転送したモデルをすべて処理をした

を表しています。

入力欄にあるモデルを訂正を含めて以下のように処理します。

(オ)「伝票」は省略、「月/日」は 2/10 と入力

(カ)「摘要」まで Enter でスキップし、1月を2月に訂正

(キ)「新規」ボタンをクリック

(ク)自動的に連番2のモデルが入ります。

同じように「伝票」は省略、「月/日」は 2/10 と入力。「摘要」まで Enter でスキップし、1月を2月に訂正し「新規」ボタンをクリック
これですべての転送が終わったので下のようなメッセージが出ます。



(例2) 2月分の家賃が2月10日に入ったので、仕訳日記帳には登録されている仕訳モデルを使って「新規」で仕訳をする。

また、ローンの返済も2月15日にあったのでこれも仕訳をしたい。

(ア)アクションの種類を「新規」にします。

家賃の入力

(イ)《仕訳日記帳》画面から《仕訳モデルの表示》画面を呼び出します。

(ウ)1月分の家賃のモデルとローン返済を併せて指定します。

始め行 ... 連番1の行の*欄をマウス左ボタンでクリック
1がセットされます。

終り行 ... 連番5の行の*欄をマウス左ボタンでクリック
2がセットされます。

「転送して戻る」ボタンをクリック

(工) 家賃分は(例 1)と同じ手順で転送されたモデルを処理します。

仕切り行の削除

(オ)「仕切り行」を含めて転送の対象にしたので「仕切り行」が入力欄に転送されます。

《連番 3 の仕切り行が入っている》

欄	02/10	上段：借方 / 下段：貸方			転送残	入力欄クリアー	新規
番	伝票	月/日	コード	科目	金額		
						摘要	
欄フォーカス							
へ：Enter							
へ：CTRL+←							
		科目ヘルプ		仕訳の例			

これは使えないので削除するため、「入力欄クリアー」ボタンを押します。

ローン返済の入力

(カ) 《仕訳日記帳》の入力欄にはつぎのような「ローン返済」が入っています。

《連番 4 のローン返済が入っている》

欄		上段：借方 / 下段：貸方			転送残	入力欄クリアー	新規
番	伝票	月/日	コード	科目	金額		
			400	借入金	100,000	摘要	
欄フォーカス							
			110	普通預金	120,000	元金分	
へ：Enter							
へ：CTRL+←							
		科目ヘルプ		仕訳の例			

(キ)「伝票」は省略、「月/日」は 2/15 と入力

(ク)「借方金額」はローン返済表から訂正。「新規」ボタンまで Enter でスキップ

(ケ)「新規」ボタンをクリック

(コ)自動的に連番 5 のモデルが入ります。

「伝票」は省略、「月/日」は d を入力し 2/15 を転送

(サ)「借方金額」はローン返済表から訂正。「新規」ボタンまで Enter でスキップ

(シ)「新規」ボタンをクリック

以上がモデルを使った入力の仕方です。